

R7.10.11 東員町みらい会議 ワークショップ結果

グループ1

(1) 3-7 観光の振興

- ・北勢線を利用したイベントはあるが、全国的にもっとアピールする（行政）
- ・県外からも三岐鉄道を使って観光に来てもらう（自転車専用）（行政）
- ・三岐鉄道車内吊さげ作品展示（行政、町民）
- ・北勢線カフェ（行政、民間）
- ・コミュニティバスの充実（大型→中型→小型。ハイエースで小回りする）（行政）
- ・コミュニティバスを観光に（行政）
- ・観光案内所（行政）
- ・DX化（行政）
- ・特徴のある施設
- ・映えスポット（金井神社、阿下喜の町並み）（民間）
- ・観光施設は新しく作るのは時間がかかるので今ある寺、神社などの歴史建物を活用する（行政）
- ・町外の人はもちろん町内の人も行きたくなる観光地
- ・持続可能な賑わい
- ・遊べる商業施設を作る
- ・おいしいご飯屋さんがあるといいな（民間）
- ・飲食店の充実（民間）
- ・飲食店が少ない（魅力の発信）。町外へ流出している（民間）
- ・特産品を作る（行政、民間）
- ・東員町にしかないイベントなど（行政）
- ・ギャラリー設置。県外から参加求める（行政、民間、町民）
- ・東員町らしさ、東員町にしかないもの（行政、民間）
- ・中部公園を地元の人だけでなく外部から大勢来られるイベントを（行政、民間）
- ・工場見学（行政、民間）
- ・空き家などを活用（行政、民間、町民）

(2) 施策 5-1 幼児教育・学校教育の充実

- ・IT化への適応
- ・歩道や街灯、カメラをもっと増やして子供を安全に
- ・新しい中学への道を充実させる
- ・学校に通いやすく
- ・整理された町づくり
- ・通学路をきれいにしてほしい
- ・学童保育の充実
- ・世代別の子育て支援（デイサービス）

- ・ 子供の一時預かり、児童館
- ・ 専門学校をつくる
- ・ 大学をつくろう！！（バイト、パートの土日祝、夜間などの人員不足も解決）
- ・ 大きめな専門学校
- ・ 公立学校
- ・ 義務教育以降の充実
- ・ 教育方針がユニーク、個性的、受験に強いなどの幼稚園
- ・ 私立幼稚園を増やして幼稚園ごとに特色のある教育を（教育の選択肢）
- ・ 塾や習い事を子供だけで行けるようにしたい（交通＆数を増やす。駅に近い）
- ・ 習い事はみんな町外へ行っている。プールや塾など学校以外の教育施設を町内に
- ・ スポ少だと夜遅くなるのでもう少し早い時間でできるようなものを充実してほしい
- ・ 保育士の確保。特に夜 19 時まで働ける人の確保
- ・ 保育園の定員増加。保育士さんの増員
- ・ 子育て世代へのかかわり（孤立しないように。地域の連携）
- ・ 通学ボランティア。地域全体の子育て
- ・ 不登校へのサポート
- ・ 病児保育
- ・ 病院をもっと多く

グループ2

（1）5-1 幼児教育・学校教育の充実

- ・ お年寄りと子供の交流会（竹トンボ、竹で水てっぽう、竹馬づくり）
- ・ 学童保育の充実。両親が仕事で不在時。子供の孤立をなくして人の交流を増やす
- ・ 体験学習を行う（学校、町、農家などが田植え、稲刈り作業）
- ・ 子供のためになる、町が行っている、行いたい施策（クラウドファンディングの募集、広報やネットで紹介）
- ・ 税外負担、寄附
- ・ 学童の先生が不足している。先生が増えるように（シルバー人材など）

（2）5-2 教育環境の整備

- ・ 町の企業に触れる（民間）
- ・ 他地域の生徒と交流（学校）
- ・ 防災教育を地域の方とともに進める（学校、消防、地域）
- ・ 学校の災害時食料整備（教員委員会、消防）
- ・ 教育現場の集中（行政）
- ・ 学校建物を地域も共に活用して建物を有効に（学校、地域）
- ・ 放課後、休日における集落センターの活用（自治会）
- ・ 私立保育園、幼稚園認め、待機児童をなくす（競争させる）

- ・パソコン、タブレット学習。ゲームを作れるように
- ・夏休みの研究、工作などでの為になるものを発明できた時の楽しさ、嬉しさの体験
- ・道徳、生命、いのちの教育を充実（学校、地域）
- ・道徳（必ず先生も子供も親も）
- ・褒章制度の整備（先生、生徒）（学校教育課）
- ・教科書をタブレット、ノートパソコン化（子どものうちから慣れる）
- ・教育に AI などの最新技術を取り入れる（学校教育課）
- ・AI などの最新技術を取り入れた教育の導入（学校教育課）

グループ3

（１）1-2 地域医療体制の確保

- ・病院への交通手段
- ・行政タクシーで医療期間へ行けたらよい（行政）
- ・交通手段のない人の連絡先（行政）
- ・ボランティアネットワーク（町民）
- ・アプリを作る（行政）
- ・ジム、デイケア。料理教室の先生などに配ってもらう（民間）
- ・何課へ行けばいいかの相談
- ・救急かどうかの相談（自治会）
- ・#7119 への TEL 案内
- ・一人暮らしの緊急の対処（行政）
- ・救急ボタン（行政）
- ・容態に対する対処（行政）
- ・救急時の手引き（行政）
- ・夜間どこへ行けば…（TEL など）
- ・健康診断結果からの医療。スムーズな流れ（行政）

（２）6-2 青少年の健全育成

- ・防犯パトロールの強化（自治会）
- ・睡眠を十分とる（家庭）
- ・あいさつ運動（学校）
- ・サッカーの案内を入れてほしい（行政）
- ・クラブ活動の推進（学校）
- ・運動をする（町民）
- ・スポーツ大会。企業から景品（商工会）
- ・「あいさつをしよう」看板を出す（行政）
- ・スマホから遠ざける（町民）
- ・大人もスマホを止める（町民）

グループ4

(1) 1-1 健康づくりの推進

- ・シルバー人材（行政）
- ・外に出る支援（行政）
- ・インターネット（行政、自治会）
- ・人とのつながり、コミュニティをつくる（町民）
- ・コミュニティを維持する支援（行政）
- ・コミュニティを作って地域の人に外出の機会を作る。その中で小さな趣味のサークルを作り出す（シニアクラブ役員）
- ・健康づくりサポーターの育成。年数回の健康教室を開いて、その中で次のサポーターを育てる（自治会、シニアクラブ役員）
- ・一人住まいの人の情報を班長会で共有して声かけをする（民生委員、班長）
- ・食改（行政→民間）
- ・わくわく弁当（社協）
- ・健康づくりのためには健康が大切
- ・低添加物、手作りの食品など（町民、行政、シルバー人材）
- ・低農薬、低添加物の給食（行政）
- ・毎月十日の健康チェック（行政）
- ・ラジオ体操の推進（行政→自治会）
- ・地域の活性化の活動したとき活動費として支援手当を出す（行政）
- ・健康な方とそうでない方の違いについてアンケート調査（行政）

(2) 9-3 公共交通網の維持・確保

- ・ネオポリス団地の人口流入（行政）
- ・バス広告に参加する。安い広告料にする（自治会、地域サークル）
- ・バス内に名所案内のテレビ、スライド放映（行政）
- ・買い物ツアーバスを作る。2000円以上購入は半額（行政、サポートは自治会）
- ・乗り合わせなど、免許返納後の交通手段。オレンジバスは遠くて利用しづらい（自治会、行政）
- ・ライドオン用の車両の保険などの支援
- ・月一回「公共交通利用の日」をつくってポイントを付ける（行政、町民）
- ・イベント時に半額でオレンジシャトルバスを出す。笹尾祭りなど（行政）
- ・バスダイヤ増便。3台→5台（行政）
- ・オレンジバスの時刻表をわかりやすく
- ・バス停に駐車場（行政）
- ・名古屋行高速バスの始発場所に利用者の駐車場を作してほしい（行政）
- ・名古屋行高速バスの停留所を東員駅に作ってほしい（行政）
- ・バスの台数を増やす。通勤時間、TOIN マルシェイベント時間（行政）